

令和6年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：トマトキバガ（トマト、ミニトマト）

令和7年3月7日
鳥取県病害虫防除所

1 対象病害虫

トマトキバガ（令和6年6月11日病害虫発生予察特殊報第1号を発表）

2 発生状況

- （1）3月7日に県中部倉吉市のトマトハウスにおいてトマトキバガ幼虫による茎葉の被害（図1）が確認されました。
- （2）今後、他地区においても被害が発生することが懸念されるため、ほ場内を見回り、被害の早期発見と発生初期の防除を徹底してください。

3 本種の特徴及び生態

- （1）成虫は翅を閉じた状態で体長約5mm（開張約10mm）で、前翅は灰褐色地に黒色斑が散在し、後翅は一様に淡黒褐色である（図2）。
幼虫の体長は、終齢幼虫で約8mm、体色は淡緑色～淡赤白色。前胸の背面後方に細い黒色横帯がある（図3）。
- （2）主な寄主植物はトマト、ナス、ピーマン、バレイショなどのナス科植物で、マメ科のインゲンマメも寄主植物として確認されている。
- （3）1年に複数の世代が発生し、繁殖力が高い。卵～成虫になるまでの期間は24～38日程度で、気温が低いと生育期間はさらに伸びる。成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多く、雌は一生のうちに平均で約260個の卵を寄主植物の裏面などに産み付ける。
- （4）トマトでは、幼虫が茎葉の内部に潜孔し、食害部分は表面だけが残り白～褐変した外観となる（図4）。また、果実へも幼虫が食入し、穿孔痕が生じるとともに食害部分の腐敗が生じ果実品質が著しく低下する（図5）。

4 防除対策

- （1）ほ場内をよく見回り、早期発見に努める。本虫と疑われる幼虫を発見した場合には、速やかに鳥取県病害虫防除所に連絡する。
- （2）発生を確認した場合は、表を参考にして登録のある殺虫剤により防除を行う。薬剤散布にあたっては、最新の農薬登録情報を確認し、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統が異なる薬剤のローテーション散布を行う。

(3) 発生を拡大させないため、被害葉や被害果実をほ場に放置せず、土中深くに埋没するか、ビニール袋などに入れて密閉し、寄生した成幼虫を全て死滅させた後に処分するなど、適切に処理する。



図1 トマトキバガ被害葉



図2 トマトキバガ成虫 (参考)



図3 トマトキバガ幼虫 (参考)



図4 トマトキバガ幼虫によるミニトマト葉の食害痕 (参考)



図5 トマトキバガ幼虫によるトマト果実の食害痕 (参考)

表 トマトキバガに対する登録農薬（令和7年3月7日現在）

| 農薬名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 使用方法 | 登録作物 | | IRAC |
|---------------------|----------------------------------|------------------|---------|------|------|-------|------|
| | | | | | トマト | ミニトマト | |
| ディアナSC | 2,500～5,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 | 散布 | ○ | ○ | 5 |
| ラディアントSC | 2,500～5,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 | 散布 | ○ | ○ | 5 |
| ダブルシューターSE | 1,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 | 散布 | ○ | ○ | 5,- |
| アフーム乳剤 | 2,000倍 | 収穫前日まで | 5回以内 | 散布 | ○ | ○ | 6 |
| アグリメック | 500～1,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 | 散布 | ○ | × | 6 |
| エスマルクDF | 1,000倍 | 発生初期但し 収穫前日まで | — | 散布 | ○ | ○ | 11A |
| コテツフロアブル | 2,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 | 散布 | ○ | ○ | 13 |
| トルネードエースDF | 2,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 | 散布 | ○ | × | 22A |
| アクセルフロアブル | 1,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 | 散布 | ○ | ○ | 22B |
| フェニックス顆粒水和剤 | 2,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 | 散布 | ○ | ○ | 28 |
| ヨーバルフロアブル | 2,500倍 | 収穫前日まで | 3回以内 | 散布 | ○ | ○ | 28 |
| ベネビアOD | 2,000倍 | 収穫前日まで | 定植後3回以内 | 散布 | ○ | ○ | 28 |
| ベリマークSC | 400株当たり25mL (希釈水量10～20L/400株) | 育苗期後半 ～定植当日 | 合計1回以内 | 灌注 | ○ | ○ | 28 |
| プリロン粒剤 プリロン粒剤オメガ | 2g/株 | 育苗期後半 ～定植時 | | 株元散布 | ○ | ○ | 28 |
| グレーシア乳剤 | 2,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 | 散布 | ○ | ○ | 30 |
| プレオフロアブル | 1,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 | 散布 | ○ | ○ | UN |

防除薬剤については使用前に登録内容を農林水産省農薬登録情報提供システム
(<https://pesticide.maff.go.jp/>) で確認してください。